

令和6年通常選挙 地方本部長(中国)

選挙公報【詳細版】

■ 地方本部長の立候補者 (地方本部区域名 中国)

- ①コールサイン : **JH4NMT**
②氏名(フリガナ) : **松田 佳之 (マツダ ヨシユキ)**
③年齢 : **62歳**
④職業 : 国家公務員(裁判所), 地方公務員(教育委員会), 松田佳之技術士事務所代表
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士 第1級海上無線通信士, FCC Amateur Extra

力を入れている無線活動

- ・運用面: 多くの仲間と協力して運用するコンテストに注力し、ハイレベルなスコアを追求しています。
- ・技術面: 近年特に高精度で安価になってきました各種測定器を活用した高周波・伝送線路関係の実用的な製作品を多くの仲間とともに試作・実用化試験をするなど、アマチュアならではの広範囲で実用的な技術の追求を行っています。
- ・支援面: 登録検査等事業者として27年にわたり、正式なハイパワー局の免許を希望する多くの皆さまの支援を行い、無線局変更検査合格のお手伝いを、利益を追求することなく行っています。

地方本部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

昨年3月にアマチュア無線を取り巻く電波行政の方向性が変わり、さらには昨年6月以降JARLの理事会の体制も大きく変わり、現在のJARLは、業務の透明性と説明責任を果たし、アマチュア無線の未来を真剣に考えることのできる組織に大きく変わりつつあります。

①私は現在、中国地方本部の責任者として当地方本部内の情報公開を積極的に行い、実際に複数の会員の皆さまに、当地方本部内に保管してあります証憑書類の開示を行い、また時折当地方本部に直接お尋ねのある質問や照会についても丁寧に対応しています。

②アマチュア無線家、JARL会員およびJARLの組織の接点は支部活動にこそあることを認識し、県支部の活動・行事への提言を行い、現在そして将来の社会に対応できる組織のあり方への方向性の提言を進めていますが、組織というものは一朝一夕には方向転換が難しいという実情があります。

この点につきましても、さらに多くの会員の皆さまの意見をお伺いし、納得度・満足度の高い中国地方本部に近づけますように最大限の努力をして参ります。

③地方本部費および支部に預託してあります予算の用途につきましても説明責任と透明性を前面に出し、一部の旧態依然とした間違った考え方に対してきちんとした対応を進めて参りました。

今後の課題として、説明責任と業務の透明性を堅持してこの方針を進めて参ります。

④アマチュア無線の将来を担う若い年齢層の方にはまずアマチュア無線を知ってもらうこと。

これはアマチュア無線を体験してもらうことが一番ではありますが、「言うは易く行うは難し」のとおりで、一般的にはこの体験の実施は意外と難しいのが現実です。

一つのテストケースとして、現在中国地方本部は行政と教育委員会の支援のもと、小・中学校におきましてアマチュア無線の体験運用を行う記念局の設置の施策を進めています。

これにより一人でも多くの児童・生徒の方々が情報通信や電波利用に興味を持ち、ひいては理系人材・アマチュア無線家、さらにはJARLの会員が増加する方向の努力を、中国地方本部の組織の結束を持ちまして精力的に進めて参ります。

理事としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に) JARLの財産として多くの会員の皆さまによく言われますのは、会館建設積立資産および衛星積立資産の合計の約8億円の資産です。

しかし私は、JARLの真の財産とはJARLの会員の皆さまそのものであると考えています。

現在のJARLの年間収入約3億9千万円のうちの85%程度を占める会費収入。このことは約6万5千人の会員の皆さまにお納めいただいている「会費」によってJARLが運営されていると言っても過言ではありません。つまりJARLの真の財産はやはり会員一人一人の皆さまであると言えます。

しかし、JARLの会員に関するネガティブな情報としての平均年齢の高齢化、年齢層別会員構成での最多層が70歳代に達するなど、将来のJARL、さらには将来のアマチュア無線を考える際に、この財産が自然に減じていく現状を真剣に考えるべき時が来ています。

現在のJARL会員の皆さまがJARLを去らない組織のあり方、会員の方々へのサービスのあり方次第でアマチュア無線を始めた方々が自然にJARLに入会できる方策などは旧来とは違うものであるという観点から、私は過去、適切な施策を実現できる議案26件を理事会に提出して参りました。

昨年6月以来、JARLは旧来のJARLから変わりつつあります。

多くの会員の皆さまの意見をきちんと聞き、整理し、議案として理事会に提案する活動は理事としての当然の責務として今後も精力的に進めて参ります。

令和6年通常選挙 地方本部長(中国)

■ 地方本部長の立候補者 (地方本部区域名 中国)

- ①コールサイン : JH4LPY
②氏名(フリガナ) : 梶田 英司 (カジタ エイジ)
③年齢 : 64歳
④職業 : 農業
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- (1) 県をまたがった特別局の開設・運用(8J4SNP、8J4B)
- (2) スクールコンタクトの実施(井原市立美星小学校、倉敷市立帯江小学校)
- (3) 小学生を対象とした電子工作教室の開催(11年間)
- (4) D-STAR 倉敷レピーターJP4YDV(JARL直轄局)の管理団体に所属
- (5) イベントにおけるJA4RL/JH4YRLの公開運用・体験運用
- (6) 岡山県及び各市の防災訓練への参加

地方本部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私は、先端技術に触れていたいとの思いから、49年間JARL会員としてアマチュア無線を楽しんで来た、ごく一般的なアマチュア無線家です。4エリアには、素晴らしいアマチュア無線のスペシャリストの方々がおられます。そうした皆様のアイデアとご協力をいただきながら、次のようなJARL中国地方本部の活動を行ってまいりたいと考えています。

- (1) 2期4年間のJARL岡山県支部長の経験を活かし、中国地方本部の業務を円滑に行ってまいります。
- (2) JARL本部と4エリアとのパイプ役として、4エリアの会員の皆様の意見やアイデアを集約しJARL本部に届けるとともに、JARL本部で得られた情報を4エリアのアマチュア無線活動に活かせるよう努力します。
- (3) ハムの集いなどを通して、アマチュア無線技術の向上と楽しみ方の普及に努めます。
- (4) 楽しみながらも、災害時に実効性のあるOSOコンテストの開催を目指します。
- (5) 機会をとらえ、4エリア全体で取り組める特別局の開設・運営を行います。
- (6) 各種イベントや公開運用・体験運用を通して、一般の方々、特に子どもたちに向けて、ワクワクするアマチュア無線の楽しさ・魅力の発信に努めます。

理事としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

まずは「1年生理事」として、JARL本部の業務内容を勉強させていただきつつ、40年間の地方自治体職員としての経験を活かして、次のような分野に携われればと考えています。

- (1) 子どもたちや若い世代へのアマチュア無線の楽しさを伝える活動。
- (2) 新しい技術を取り入れた楽しみ方の推進。(JARL業務のデジタル化を含む。)
- (3) 社会貢献分野でのアマチュア無線の取り組み。

☆☆☆ 皆様どうぞよろしくお願ひいたします。☆☆☆